自治会いきいき No.132

能代市自治会連合協議会　木元　実さん（81歳）

「各自治会長が活動に必要な知識の習得に努めています」

市内には265の自治会があり、自治会どうしの親ぼく融和や行政施策への協力、自治会運営の研さんを図ることを目的として能代市自治会連合協議会が運営されています。

協議会の事業として、16年度は十和田市を訪問して連合会の活動内容や市政などを研修しました。十和田市の協議会では部会制を敷いて防犯活動や花苗の無償配付などを行っています。行政との懇談会も開催していて活発さが感じられました。また北里大学キャンパスがあり、生徒1,000人、教授陣300人となっています。その家族を含めるとたくさんの人数になり地域の経済を潤しているということで、能代にも若い人が必要と痛切に感じました。

研修では「高齢化社会の地域医療のあり方」と題して山本組合総合病院の大渕院長をお迎えして講演を聴きました。「高齢者の健康維持には個人の心がけも大切だが、地域として高齢者の健康を守る活動が必要」とのお話でした。

これからは、高齢化社会がますます進むため、地域では自治会の役割が大切になって行くと考えています。各自治会が活発に活動し、適切に運営されて行くために手助けとなるような研修や視察に力を入れて行きたいと思います。

このほか、ここ数年は「まちの美化運動」「高齢者の交通安全」に取り組んでいて、看板を設置したり、関係団体と連携を取っています。昨今の社会情勢では防犯・防災のための地域安全ネットワークが必要で今後の課題と考えています。

（地域医療研修会）

「納得できる地域づくり～市長と本音で語ろう」で市長が各地域をまわられたが、自治会連合協議会としては大変良いことと評価しています。行政側との話し合いがもっと必要と感じているので、地域座談会のようなものを開いて欲しいと思っています。

※自治会いきいきは、今回で休止します。
次回から新しい企画を始めます。

まちかど ウォッチング

60回、70回とどんどん回数が増えていくように市民全員で応援しましょう!!

３月24日、ＪＲ能代駅に能代工業バスケ部の全国大会優勝回数のボードが設置されました。

【いつも元気】

ランドセル、うれしいなぁ♪
（淳二小入学式）

のーろ逍遥 歴史と民俗のあいだ 67

馬の絵(六)「轟・相染講」

左の絵は轟神明社に納められた相染講の掛け軸です。上部に馬上の人物が、下部には群馬が配されています。上部の絵は、馬上で剣を持った武士の姿が、相馬中村神社の妙見菩薩の絵柄に似ていますが、雲上にあることや、両手をあげて剣を交差させ、火炎を立ち上げているところが違います。相染様に因んだ馬頭観音かとも思いましたが、非常に穏やかな顔をして、慈悲の心で野の馬を見守るかのようです。馬頭観音は憤怒の形相を持つのが普通ですが、『仏像案内』（吉川弘文館）によると、本来は転輪聖王（正法をもって世を治める王）の宝馬が世界を縦横無尽に駆けめぐって、一切の障害を除いて慈悲の本願を果たす観音だとあります。その通りの図かもしれません。

群馬は草原を駆けめぐり、草を食み、小川を渡る図ですが、自由奔放な姿で、放牧地のさまを表現しています。黒馬は雨を、赤馬は晴れを願い、白馬は神馬ですが、祈晴の馬でもあります。馬は農耕に使役されるだけでなく、天候の順調を願い、豊作を祈願する役も担っていたことになります。

（古内龍夫）

●毎月第2・4木曜日発行　●編集と発行　能代市市民まちづくり支援課　〒016-8501　秋田県能代市上町1-3　TEL0185-89-2147　●印刷　㈱大潟印刷